

「COP22 Side Event: Small and Medium-Sized Enterprises (SMEs) Climate Finance Pathways for Nationally Determined Contributions (NDCs)」

傍聴報告

2016年11月15日
一般社団法人海外環境協力センター (OECC)

本傍聴報告は、2016年11月7日～18日にモロッコ・マラケシュで開催された気候変動枠組条約第22回締約国会議 (COP22) において開催されたサイドイベントの傍聴報告です。

- タイトル : NDC 促進に向けた中小企業向け気候ファイナンスの道筋 (“Small and Medium-Sized Enterprises (SMEs) Climate Finance Pathways for Nationally Determined Contributions (NDCs)”)
- 日時 : 2016年11月10日 (木) 11:30-13:00
- 主催 : Renewable Energy and Energy Efficiency Partnership (REEEP) および the Private Finance Advisory Network (PFAN)
- 会場 : ブルーゾーン Area E : Pacific (150)
- プレゼンター (敬称略) : Martin Hiller, Director General, REEEP (モデレーター)、Ari Huhtala (Climate and Development Knowledge Network : CDKN) 、Syamsidar Thamrin (Indonesia)、Peter Storey (Global Coordinator, PFAN)、Mark Fogarty (First Energy Asia)

■ 概要

- 各国の NDC の促進に重要な点として、中小企業向け気候ファイナンスの重要性およびその事例として Private Finance Advisory Network (PFAN) や Indonesia Climate Change Trust Fund (ICCTF) 等について、プレゼンターより発表および説明がなされた。ディスカッションおよび質疑応答においても、これらの重要性が共通認識として提起された。

■ 発表内容 (敬称略)

1. Ari Huhtala (Climate and Development Knowledge Network : CDKN) ¹ :

¹詳細は発表資料 (プレゼンテーション) を参照のこと

https://seors.unfccc.int/seors/reports/events_list.html?session_id=COP22

- NDC の実施においての中小企業が果たすことができる役割があり重要である。
- そのためには中小企業の位置づけをより良い形にする必要があり、ボトム・オブ・ピラミッドの活性化が必要である。
- 中小企業の力により、コミュニティのレジリエンスも向上すると考えている。

2. Syamsidar Thamrin (Indonesia) :

- インドネシアはエネルギー戦略を発表している。
- その戦略には再生可能エネルギー促進のための経済的なインセンティブの付与、革新的な資金メカニズムの開発が含まれている。
- その 1 つの事例が **Indonesia Climate Change Trust Fund (ICCTF)** である。
- ICCTF は革新的なプロジェクト実施のための資金である。
- また、グリーンプロジェクトにおける事業リスクの保険機能もある。
- 上記以外にプロジェクト開発やキャパシティ・ビルディングにも活用可能だ。
- ICCTF は既に小規模な太陽光発電装置の導入など様々な活用事例が出ている。

3. Peter Storey (Global Coordinator, PFAN) :

- NDC は計画ごとに進めていくのではなく、1 つの流れとして進めていくことが重要であると考えている。
- 中小企業のプロジェクトは 1 つ 1 つの事業が小さくなりがちのため、資金ソースにアクセスするには、小規模のプロジェクトをまとめ上げて、サイズを大きくする必要がある。
- このような工夫をすれば国際協力銀行などの興味を引くことができるであろう。
- また、他の資金スキームとしてプライベートセクターへの支援も多数行っている。ザンビアでは無電化地域へのプロジェクトも実施している。
- この事業については PFAN だけでなくスウェーデン政府も支援している。

4. Mark Fogarty (First Energy Asia) :

- NDC は市場メカニズムを機能させる推進力となると考える。REEEP の役割は中小企業が資金アクセスし易いように、ファンドを小型化、地域化していくことが重要であると考えている。

■ 質疑応答 (敬称略)

Q. 質問者 : ICCTF (Indonesia climate change trust fund) の資金ソースはどこか。インドネシア政府の支援もあるのか。

A. Syamsidar Thamrin (Indonesia) ; 開始時は 100%他国からの資金ソースであった。他方

現在はインドネシア政府から 1.5million USD の拠出を受けている。

Q. 質問者：PFAN はマイクロファイナンスにも支援は可能か、実績はあるのか。

A. Peter Storey (Global Coordinator, PFAN)：支援は可能だがマイクロファイナンス事業はまだ少ないのが現状である。

Q. 質問者：ICCTF の small size project の定義は何か。

A. Syamsidar Thamrin (Indonesia)；現在のところはプロジェクトの金額が 50,000 USD 以上、3million USD 以下としている。

Q. 質問者：インドネシアでは気候ファイナンスの用途として再生可能エネルギー関連の支援だけでなく、化石燃料を活用した緩和事業への支援は検討しているか。

A. Syamsidar Thamrin (Indonesia)；考えていない。加えて、現在の化石燃料の市況は価格が下がっているため、必要ないと思っている。

(報告者：OECC 粕谷 泰洋)

サイドイベント傍聴報告については以下をご覧ください。

日本語版

http://www.mmechanisms.org/info/event/details_oecc_COP22report.html